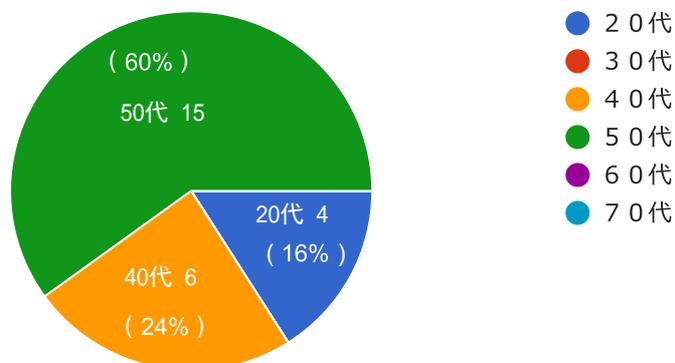


絆研修5 — アンケート (2021.2.28)

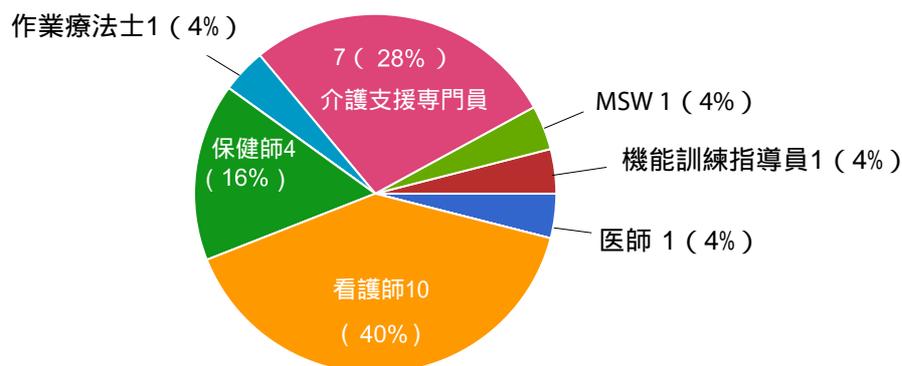
あなたについて：年代

25 件の回答



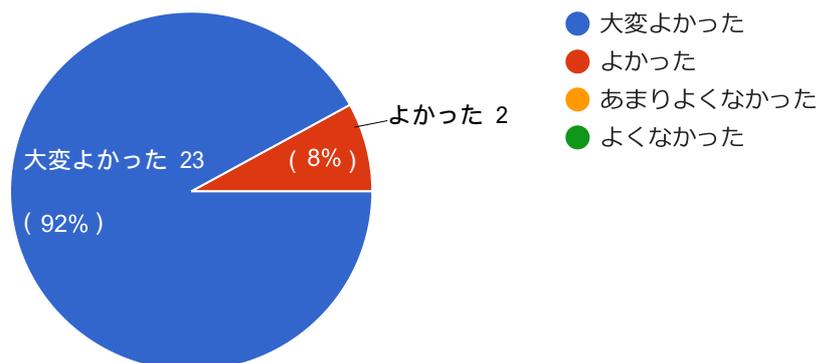
あなたについて：職種

25 件の回答



研修内容はいかがでしたか

25 件の回答



* 前問（研修内容）について、その理由

- グループワークで多職種でディスカッションできること。それぞれの価値観の共有ができたこと。
- 他職種の意見が聞いてよかった。気付いていなかった考え方が聞いて参考になった。
- 多職種での意見交換。
- 段階的に考えることができ、専門職によつての意見が聞いて勉強になった。
- 他職種の方の意見が聞いて参考になった。
- 看取りについて、医師、機能訓練指導員、介護支援専門員それぞれの立場での意見を聞くことができて、参考になりました。そして、本人や家族も交えて、最後の時まで多職種がコミュニケーションを取り合うことが大切であることがわかりました。
- 各専門職の皆様と意見交換し自分1人では思いつかないことが沢山参考になりました。
- 看取り支援について具体的なイメージが持て今後の支援に活かせる研修だった。
- 活発に意見を交わせた。
- 講義についても大変分かりやすく、また、在宅での看取りまで事例をグループで検討していく中で、多職種の方の意見を聞いて学んでいくことができました。
- 看取りのケースを支援するための配慮する視点を学ぶ事ができた。また、死間際の本人の状態が、どう変化するのかを具体的に聞いて良かった。
- その人の最期に関わらせていただくとき、現状、これまで歩んできた人生、今後の予測等を家族も含めた医療・介護スタッフがチームとして情報共有していく事が大切と感じた。
- AHN 導入について、点滴が自然か不自然かという話が今まで考えたこともなかったのですごく衝撃的でした。
- 他職種の方の具体的な意見が聞けた。
- グループワークが気楽に出来たことと、ワークシートを分かりやすく書いて頂けたのでメンバーさんの意見がとても参考になりました。
- 事例を通して、他の職種・他の人の意見を聞くことができ参考になった。
- 多職種で参加でき、視野が広がるから。
- 個人のパソコンで、家からのオンライン研修参加は初めてでしたが、ここまでスムーズにグループワークが出来ることに驚きました。運営の皆様のご尽力に感謝します。
- 多職種の異なる立場からの意見を伺え、様々な意見や考えを聞くことができた。
- 在宅看取りについてあらためて考える機会となった。
- 事例を通じて学ぶことが出来た。

* 今回の研修に参加して、今後取り組みたいこと

- ケースワークにも、多職種で振り返りの機会を持つことを検討していきたいです。
- 今まで苦手だったリモートでの参加を増やしたい。看取りのためのカンファレンスに活かしたい。
- ケアマネさん方との関係性を作る。情報共有。
- 入院支援専従看護師として、入院前の情報を生活の場を考慮して、病棟に伝えていきたいと思えます。入院中の患者さんの退院に向けての問題点に目を向けて、情報を取れる様になりたい。

- 各専門の立場でズシなど共有した方がいいことをより細かく話したい。
- 研鑽つづけます。
- 住民の方が住み慣れた地域で、最期までその人らしい人生を送ることができる、健康づくりや地域づくりを関係機関や多職種の方と少しずつでも取り組んでいきたいです。
- 例えば、職場でコロナ患者が発生した時の多職種連携をどう考えるか。
- 介護支援専門員としてその人の最期のステージに携わらせていただく時、医療・介護スタッフの意見はもちろん、不安を抱える家族の気持ちに寄り添えるように支援をしていきたい。
- 看取りの経験はまだないですが、これから看取りをすることもあると思うので、それまでに学びを深め、より良いケアが出来る様にしたいです。
- 看取りとなった際の本人、家族の気持ちの変化がないか随時確認していく。
- 今後病院でも死ねない、施設でも死ねない時代が来ると思います。となると、在宅しかありません。今回の研修を参考に在宅介護を進めたいと思います。
- 本研修に、色んな方に参加していただけるよう、声かけ。
- 栄養の選択において、退院先の管理のしやすさなどが優先されがちなので、その方の人生を考えながら患者さんご家族と話し合っていけるようにしていきたいです。
- 実際の事例に多職種で検討する機会を持ちたい。
- ACPノートの活用と施設への連携
- 地域での医療、介護サービス全体の役割を俯瞰し、連携や提案を出来るように学びを深める。

* 今回の研修に参加しての気づき

- 様々な価値観を知り、支援に活かしていくことが大事だと感じました。
- 自分の考え方やコミュニケーション能力不足に気づきました。
- 本人家族に近い人の意見をよく聞くこと。
- 集まった医療者が紙面上で話し合うことは容易かもしれないが、患者さんやご家族の意志を確認しながら担当者会議ですり合わせていくのは、大変な労力を要することに気づきました。押しつけないにならない様、また、意向に少しでも添える様に調整がとても重要だと思いました。
- もう少し幅広い専門の立場で話し合いがしたい。
- 住民方々を支える多職種の方の熱い思いに触れ、改めて、今後も連携していくことの大切さを感じました。
- 地域の医療連携方法が違う。特に個人医院の先生に繋ぐ事を感じ、課題だと思う。
- CMとして、ターミナル期の関わりについて、これまでは医療職（訪問看護）の支援を中心に考えていたが、訪問リハ等の専門職が痛みの緩和の方法や安楽位、家族への介護方法の助言や指導を受けられることで、家族や介護スタッフの介護方法に幅が広がるのがわかった。
- グループワークを通して、今は目の前の起こったことを目先の事でしか考えられていませんが、そのもっと先のこれからの事も考えていかないといけないなと思いました。
- 地域との関わりも大切にして行く。
- 意志決定は最期まで変更する事があるのだということ。

- ・患者・家族の思いを聴くことが大切と思い聴いているつもりだが、今まで以上に「聴く姿勢」を心掛けたい。また、一度決められた方針が変化することは当たり前として対応していきたい。
- ・具体的な、意思決定支援プロセスがあると知ることができた。
- ・スタッフへのケアという視点はあまり考えたことがなかった。プロなのだから、ではなく、1人の人間として、誰かの死と向き合う心の緊張や動揺などに対し、皆で支え合う必要があるのだと感じました。
- ・法や制度を知る事で、現実的にご本人及び家族さんの、希望や要望を叶える事が出来る。

* 研修全体をとおしての感想

- ・自施設に留まらず、地域とのコミュニティを広げていきたいです。
- ・他職種のがんばっている方々にあえることを楽しみに今後も参加していきたいです。ありがとうございました。
- ・いろいろな立場から大切にしていることや、今の状況がわかり、医療者として参考になった。その人の人生を考える根本は家にあるってこと。たとえ入院中であっても。
- ・あっという間に時間がたち、楽しい時間を毎回過ごさせて頂きました。1回目はすごく緊張していた様な気がします。2回目、3回目は ZOOM 研修ではじめての体験だったのですが、自分としては、リラックスできた方だと思います。運営スタッフの方々のお陰だと思います。ありがとうございました。
- ・事前準備も含め研修でした。私の現場では医師の先生とお話することが少ないのでこの資料を頂いた時点でかなり緊張状態が継続しました。
- ・とても有意義な時間となりました。事務局、スタッフの方々、ありがとうございました。
- ・自分だけの支援の考え方だけではなく、他職種の方の意見を聞いて参考になる。最新の医療連携の考え方が学べることができたと思う。
- ・オンライン研修にもっと慣れ、今後、自分たちからも様々な情報や研修が発信できるといいなあと感じました。良い機会をありがとうございました。
- ・すごくいい研修でした。
- ・職種が違う方と話し合う事で視野が広がる。今後の支援するにあたり、いい勉強になった。
- ・今まで日程調整がつかず参加できず、今回初めての参加でした。連携するには顔の見える関係でいることは大事だと思っていますので、今後も参加したいです。
- ・3時間 あっという間でした。ありがとうございました。
- ・とてもよい経験になりました。
- ・初めてのオンラインでのグループワークで終始緊張していました。うまくファシリテーターの方に声をかけていただき発言できました。ありがとうございました！
- ・慣れない状況の中、初めての Zoom 参加でお世話になりました。ありがとうございました。
- ・WEB でも多くの方と情報共有することができて、会場参加と変わらない程度の満足感がありました。準備・構成等、検討されましたスタッフの方々に感謝します。